



Q：朝の情報番組「とくダネー」の司会で有名なアナウンサーの小倉智昭さんが膀胱がんであることを告白されました。

A：膀胱がんは男性に多く、50歳以上の比較的高齢の方に多くみられ、喫煙は重要な危険因子です。症状は無症候性肉眼的血尿と呼ばれる痛みのない血尿が特徴ですが、時に排尿時の痛み、排尿回数が増加など膀胱炎のような症状から膀胱がんがみつかることもあります。がんの中でも初期症状が現れやすく、早期に見られることが多いがんです。

表在性がんと浸潤性がんの

2つに分けて考えられます。表在性は膀胱内腔に乳頭状に発育し、膀胱壁筋層へは浸潤していない状態のもので、内視鏡による経尿道的膀胱腫瘍切除術が行われますが、残った膀胱に再発を起こしやすいという問題があります。一方、浸潤性は膀胱壁筋層に浸潤し、進行が早くリンパ節や他臓器転移を起しやすいため膀胱全摘術が行われますが、腸の一部を使っておなかに尿の出口



を作る手術(回腸導管造設術)や、腸を使って膀胱の代わりの袋を作り尿道につなぐ手術(回腸新膀胱)などの尿路変向術が必要となります。

(岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニッコー北口駅前ビル2F)

☎0555・2888・1800